

ま え が き

社団法人 日本技術士会
カンボジア王国技術協フォーラム
会 長 吉 武 進 也

始めに(カンボジア王国第一級友好勲章受賞)

カンボジア・エンジニア協会(EIC: The Engineering Institution of Cambodia)が、第2回総会を平成18年(2007年)3月15日～16日に開催するに当たり、EIC会長(Prof.Meas Sokhom)から、EICと関係の深い海外の協会を招待したいとして、(社)日本技術士会(IPEJ)の都丸徳治会長および吉武進也元副会長・カンボジア技術協カフォーラム(CTCF)会長の両者あてに、3月1日付の招待状が届けられました。

このEIC第2回総会の席で、(社)日本技術士会(IPEJ)のカンボジア王国へのこれまでの貢献[カンボジア王国の技術者を対象としたグリーンテクノロジー(Green Technology)の技術研修を2004年から2006年の間、3回実施したことなど]に対して、カンボジア王国政府からIPEJ代表として吉武進也に、勲章の授与があるとの連絡がありました。

当初、この総会・授与式に吉武進也が出席する予定であったが、体調不良のため都丸会長と相談し、更に、カンボジア側に代理出席の了解の下に、カンボジア王国技術協カフォーラム会員の高城重厚が出席することになりました。

EIC第2回総会は、カンボジア王国政府関係者及び海外の招待客など多くの出席者の下に無事終了し、また、総会の最後に行われた表彰・授与式において、(社)日本技術士会のこれまでの貢献に対して**カンボジア王国政府から、IPEJ 吉武進也元副会長に第一級友好勲章が授与されました。**

(社)日本技術士会の活動が、カンボジア王国政府及びEICから高く評価され、このように表彰・叙勲されたということは、(社)日本技術士会にとっても極めて名誉なこととあります。

カンボジア王国視察調査団訪問

(社)日本技術士会は、(社)日本技術士会・カンボジア王国視察調査団(団長吉武進也)を編成して、2002年12月16日(月)から19日(木)の4日間、カンボジア王国のシェムリアップ及びプノンペンを訪問しました。

シェムリアップでは、石澤良昭上智大学教授(現上智大学学長)の講義を受け、ア

ンコール遺跡群を訪ね、プノンペンでは、カンボジア王国政府機関等と意見交換し、(社)日本技術士会の活動を説明すると共に、カンボジア王国の技術者教育、制度、技術支援の有り方などに関する情報を得ました。

調査団訪問の契機は、吉武進也が2002年3月にカンボジア王国に出張した際、上智大学現学長石澤良昭教授の知遇を得て、アンコール遺跡修復の説明を聞く機会を与えられたことに始まります。

さらに、日本政府経済産業省アジア大洋州課、技術協力課、JETRO、外務省、JICAなどの多くの関係者のご協力を頂いて、調査訪問先、調査日程などを編成致しました。

これらご関係先のご配慮によって、カンボジア王国政府鉱工業・エネルギー省及び公共事業・運輸省などのカンボジア王国政府機関及び在カンボジア日本国大使館並びにJICAカンボジア事務所に対して、(社)日本技術士会の活動の紹介をすることも、カンボジア王国事情の調査に加えて、この調査の基本目的としました。

その結果、カンボジア王国政府の要請もあって、日本政府経済産業省アジア大洋州課及び技術協力課は、カンボジア王国技術支援事業の一環として(社)日本技術士会にグリーンテクノロジーの研修を3年間行うことを認めました。

カンボジア王国へのグリーンテクノロジー研修

カンボジア王国技術協力フォーラム会長の吉武進也は、経済産業省のカンボジア王国技術支援事業のカンボジア王国への平成16年(2004年)1月に開催された第1次グリーンテクノロジー研修団及び平成16年(2004年)12月に開催された第2次グリーンテクノロジー研修団の団長として、カンボジア王国プノンペンを訪問致しました。

続いて、今回、平成17年(2005年)12月3日から12月5日～9日の5日間及び平成18年(2006年)2月13日～17日の5日間に開催された第3次グリーンテクノロジーの研修開講式出席のために研修団長としてカンボジア王国プノンペンを訪問致しました。

ここに、第3次グリーンテクノロジー研修の概要を報告致します。

この研修は、経済産業省がカンボジア王国に対する技術支援の施策の一環を担うもので、(社)日本技術士会カンボジア王国技術協力フォーラムが実施したものであり

ます。

第3次研修の目的は、第1次研修及び第2次研修から貢献出来る知見及び研修生からの多くの建設的な意見を参照して、我々がこの分野で得られる技術的な人的支援を考慮して、カンボジア王国におけるグリーンテクノロジーに携わる人材育成及びキャパシティビルディングへの支援と致しました。

第1次研修は、グリーンテクノロジー概論及び要素技術の入門編で、夫々の要素技術の実践的スキルを習得することを主体と致しました。

また、第2次研修に当たっては、研修生の要望が、農産物加工技術と環境保全技術に集中したことを踏まえ、第2次研修は、農産物加工技術コース及び環境保全技術コースの2コースを実施致しました。

今回の第3次研修は、グリーンテクノロジーの完結編として、「農産物(食品)加工」及び「環境に配慮したエネルギー開発技術」並びに「情報応用技術」を実施致しました。

第1次研修及び第2次研修に引き続き、今回の第3次研修もカンボジア王国政府 鉱工業・エネルギー省(MIME)、王立プノンペン大学(RUPP)、カンボジア技術者協会(EIC)の絶大な協力がありました。

また、第1次研修及び第2次研修に引き続き、今回の第3次研修も大変好評を得ました。

なお、開講式の前夜の12月4日(日)に団長として、カウンターパートの次のご夫妻を晚餐会にお招きして今迄の研修への協力のお礼と今後の問題について懇談致しました。

カンボジア王立プノンペン大学学長 Lav Chhiv Eav 氏ご夫妻

カンボジアエンジニア協会会長 Meas Sokhom 氏ご夫妻

なお、カンボジア政府 鉱工業・エネルギー省副大臣 Ith Praing 氏ご夫妻もご招待申し上げたのですが、急な出張で残念ながら晚餐会には出られませんでした。

12月5日(月)の開講式は、前記3氏の他に日本大使館参事官地神一美氏、JICAカンボジア事務所次長鵜飼彦幸氏、(財)海外技術研修協会(AOTS)アセアン・南ア

ジア統括所長吉原秀男氏、JICAエキスパート(カンボジア政府鉱工業・エネルギー省担当)原 礼有氏が来賓として出席されました。

開講式の初めに、カンボジア王国国歌の演奏、続いて団長として吉武進也が開会のことばを述べ、日本大使館参事官地神一美氏、JICAカンボジア事務所次長鵜飼彦幸氏、鉱工業・エネルギー省副大臣 Ith Praing 氏、王立プノンペン大学学長 Lav Chhiv Eav 氏、カンボジア技術者協会会長 Meas Sokhom 氏、AOTS吉原秀男氏のご挨拶を頂き、出席者全員の記念写真を撮って開会式は終了、9日までの研修が始まりました。

最後に、「事前調査」を担当した神戸良雄氏、「農産物(食品)加工技術」コースの講師の佐藤正忠氏、加藤 洋氏、「環境に配慮したエネルギー技術」コースの講師の高城重厚氏、長谷川孝道氏、「情報応用技術」コースの講師の橋本義平氏、本間 勝氏及び「技術士制度」などの講師及び事務局を担当された秋山 誠氏に深甚な感謝を表します。

更に、今回も引き続きご支援・ご鞭撻を頂きました社団法人日本技術士会都丸徳治会長、事務局の竹下 功専務理事、畠山正樹常務理事の各位に深くお礼を申し上げます。

また、第1次研修・第2次研修に引き続き、今回の第3次研修もご援助・ご支援を賜りました経済産業省の技術協力課、アジア大洋州課の皆様には、大いなる敬意と感謝を表します。

以上